



八戸市スポーツ推進計画改定の骨子案が示された会合＝30日、市庁

スポーツ推進計画 八戸市が改定へ

地域活性化に重点

八戸市は30日、市庁で開いた「市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会」の会合で、市スポーツ推進計画（2019～28

年度）を改定すると明らかにした。スポーツを取り巻く環境変化を受け、10カ年計画の折り返しとなる本年度に見直しを進める。同日、市が示した改定計画の骨子案では、スポーツを通じた地域活性化に重点的に取り組む方針などを掲げた。

骨子案は、19年にYSアリーナ八戸、20年にフラット八戸がそれぞれ開業したことなどを踏まえて検討。基本方針は現行計画を一部踏襲した上で、「スポーツを『楽しみたくなるまち』の実現と『水都八戸』の振興」とした。三つの基本目標の達成に向けた施策として、▽プロスポーツチームなどのスポ

ーツ観戦を起点とするにぎわいの創出▽スポーツを通じた健康増進などを新たに加えた。

この日の会合では、木村浩哉会長（八戸学院大教授）が「実効的な計画で、誰もがスポーツを楽しみたくなるようにしたい」とあいさ

つ。骨子案に関する審議では、出席した7人の委員から異論は出なかった。

市は7月、協議会に計画改定案を諮問する予定。パブリックコメント（意見公募）や答申を踏まえ、10月上旬の改定を目指す。

（千葉達也）